

い。  
すと好評であったが、何点か指摘されたところがある。独自のルールや方針もあるが、今後の課題として取り組みた  
い。

議会広報常任委員会  
研修報告  
島根県市町村議会  
広報研修会

8月25日(金)

講演では、読者の気を引くことの重要性を学んだ。リード文の出来不出来は、読む・読まないに直接かかることで、とても重要なことと感じた。大いに工夫しなければならない。

後半で各市町村が発行した議会広報のクリニック(診断)が行われた。

本議会の広報は、全体として読みやすいと好評であったが、何点か指摘されたところがある。独自のルールや方針もあるが、今後の課題として取り組みた

る。

研修会では、越地真一郎氏による「読む！質す！生かす！」創意、熱意の取り組みに学ぶ」と題する講演を拝聴する。

## 島根県市町村議会

## 研修報告

議会広報常任委員会

研修報告

議会広報常任委員会

研修報告

9月26日(火)  
町村議会広報研修会  
(全国研修)



全国研修で

## 採決の結果 [9月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件 名	結果	伊藤好晴	熊谷兼樹	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部丘	平石玲児	戸谷ひとみ
専決処分の承認を求めるごと(令和5年度飯南町一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定新型インフルエンザ等により生じた事態に対処するための飯南町職員の特殊勤務手当の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南省・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南省・飯南町事務組合と奥出雲町による一般廃棄物(ごみ)の処理施設に係る調査及び研究に関する事務委託の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 欠:欠席

一般質問  
9月定例会

## 今後の福祉行政 の方向は

高橋 英次 議員



### Q 消防水利は万全か

「飯南町地域防災計画」での消防水利の整備では、調整池・ダムを有用な水利とし、それを把握すると共に、河川水等自然水利、防火水槽、水泳プール・ため池等を活用し、消防水利の多様化を図り適正配置に努めるとあるが、現在の状況は適正で、住民の安心安全を十分に担っているとの認識か。

### A 適切な配置と理解

町長塚原隆昭

現在の配置状況は適切だと思つてゐるが、河川からの消防水利については、台風等で消失している場所や、防火水槽の中には40年経過しているものもある。

確認を行い、迅速な消防活動が住民の安心安全につながるようしっかり取り組む。

### Q 今後の消防水利 整備計画は

本町には防火水槽89カ所、消火栓11カ所、その他プールが8カ所ある。今後の防火水槽設置を含む消防水利等の整備計画は。

### A 計画はないが 調査で確認

町長塚原隆昭

現在、防火水槽の設置計画はないが、水利状況の調査確認を行い、水域の不十分な地域には、防火水槽・消火栓などの整備を考えたい。



防火水槽(下赤名)

### Q 災害車貸出事業の今後は 福祉事業の今後は

社会福祉法人飯南町社会福祉協議会では、運営している靈柩車貸出事業の靈柩車が老朽化し、車両更新を計画した。

中国陸運局島根運輸支局に事業の運営について相談を行つたが、事業運営にはハドルが高いとの回答のため、

事実上困難と判断した。

今後の対応を町と協議したが、町の支援は困難との回答が出た。

飯南町の福祉事業推進を図る最高責任者として、最終的な判断を問う。

### A 熟考を重ねた判断

町長塚原隆昭

・許可を受け事業としての実施が必要  
・業者委託はできない  
・車両、車庫の整備、運転手、運行責任者の配置等の問題

・民間事業者が利用できるなどの諸問題を熟考し、町として困難と判断した。

### Q 福祉事業への 取り組み姿勢は

今回の事業を踏まえ、財政面や費用対効果、それに伴う福祉事業の取扱選択を含め、今後の福祉事業全般への取り組みをどう進めるのか。

### A 福祉サービスは 必ず維持

町長塚原隆昭

「飯南町高齢者福祉基本計画」を策定中だ。住民のニーズに沿つた本町に必要な福祉サービスは必ず維持していく。

●他に地震災害時の消防活動に関する質問がありまして。

。